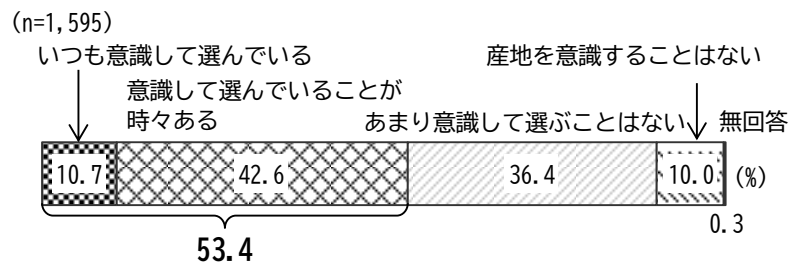


# 1 食育について

## (1) 農林水産物や食品購入時における千葉県産の意識の有無

農林水産物や食品購入時における千葉県産の意識の有無を聞いたところ、「いつも意識して選んでいる」(10.7%)と「意識して選んでいることが時々ある」(42.6%)を合わせた『意識して選んでいる(計)』(53.4%)は5割を超える。

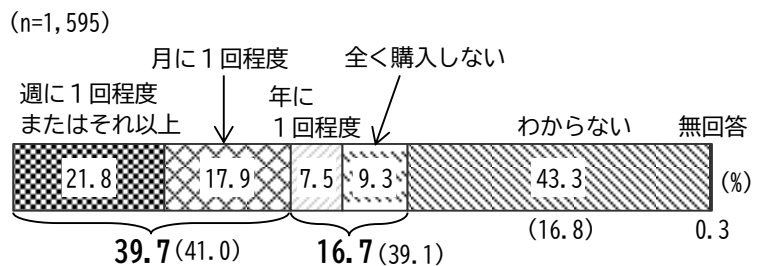
一方、「あまり意識して選ぶことはない」(36.4%)は3割台半ば、「産地を意識することはない」(10.0%)は1割となっている。



## (2) 有機農業により生産される農産物の購入頻度

有機農業により生産される農産物の購入頻度を聞いたところ、「週に1回程度またはそれ以上」(21.8%)と「月に1回程度」(17.9%)を合わせた『購入している(計)』(39.7%)は約4割となっている。

一方、「年に1回程度」(7.5%)と「全く購入しない」(9.3%)を合わせた『購入しない(計)』(16.7%)は1割台半ばとなっている。

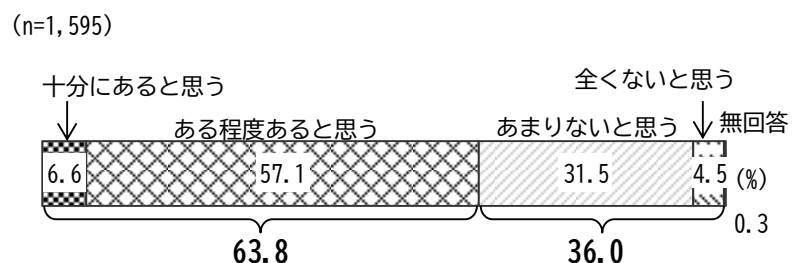


注) ( ) 書きは、平成30年度の調査結果を示している。

## (3) 食品の安全性に関する基礎的な知識の有無

食品の安全性に関する基礎的な知識の有無を聞いたところ、「十分にあると思う」(6.6%)と「ある程度あると思う」(57.1%)を合わせた『あると思う(計)』(63.8%)は6割台半ばとなっている。

一方、「あまりないと思う」(31.5%)と「全くないと思う」(4.5%)を合わせた『ないと思う(計)』(36.0%)は3割台半ばとなっている。



## 「食育について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、243人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「食育について」の自由回答(抜粋)

- 千葉県産だと新鮮な事が多いため、野菜などスーパーでみかけると購入している。学校給食にも多くとり入れてほしい。  
(女性、30代、葛南地域)
- 食物が身体を作っていますので、とても大事なことだと思っています。日本は食料の自給率が低いので心配です。地産地消を大事にすれば生産者にも気持ちに向くと思います。  
(女性、70～74歳、東葛飾地域)
- 地産地消は県民として大事なことと思います。同じ品物が並んで販売されていれば、当然千葉県産を選ぶ。  
(男性、75歳以上、印旛地域)
- 鮮度の良い食品は総じて美味しいので、地産地消がもっと進んでほしいと思っています。最近では近所のスーパーでも産直コーナーが増えてきています。もっと手軽に鮮度のよいもののお手頃価格で購入できてほしいです。  
(女性、30代、東葛飾地域)
- 給食で意識して千葉県の農産物を使用しそれを認知させるのはとてもよいと思う。小さいうちから意識させることで大人になってからも地産地消の意識を持ち続けられると思うのでこのまま続けて欲しい。  
(女性、40代、千葉地域)
- 有機農業による農産物を購入する方が体に良いとは思っていても値段が高かったりするので、なかなか買おうと思えない。食の安全性については、ネットでいろいろ調べる事はできるが、サイトによって言っている事が違ったりして何が正解かがよくわからないことがある。  
(女性、40代、東葛飾地域)
- 有機農業による農産物であることが一目でわかるように、商品シールの大きさ、統一された目立つ表記などの工夫をして欲しい。(千葉県産農産物も同様)。(男性、65～69歳、印旛地域)
- 食品安全性に関心もてる講習をしてほしいです。私も関心があるので参加したいから。  
(女性、75歳以上、千葉地域)
- 食品の安全性について十分な知識はないが、生産者や消費期限には注意をしている。  
(女性、75歳以上、印旛地域)
- 国産や無農薬のものをなるべく選びたいが、価格が高いためなかなか手が届かないことがある。物価の上昇もあり、質より低価格なものを選ぶ機会が増えた。  
(女性、30代、葛南地域)

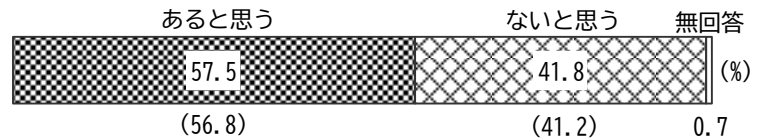
## 2 消費生活について

### (1)消費者トラブルにあった際の「安心して相談できるところ」の有無

消費者トラブルにあった時、市町村の窓口など「安心して相談できるところ」があると思うか聞いたところ、「あると思う」(57.5%)が約6割となっている。

一方、「ないと思う」(41.8%)は4割を超えている。

(n=1,595)



注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (2)消費者トラブルにあった際の「いつでも相談できる人」の有無

消費者トラブルにあった時に、地域や身近なところで、家族や知人など「いつでも相談できる人」がいると思うか聞いたところ、「いると思う」(73.4%)が7割を超えている。

一方、「いないと思う」(26.3%)は2割台半ばとなっている。

(n=1,595)

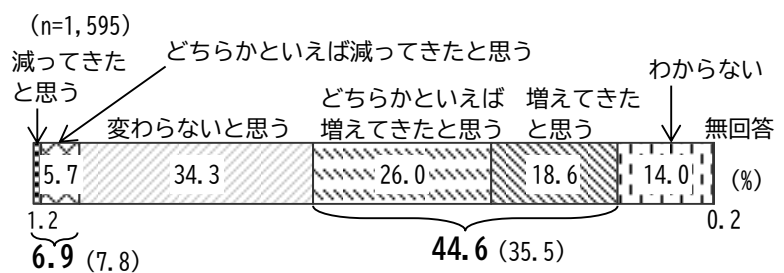


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (3)悪質商法に対する考え

点検商法や架空請求などの悪質商法が減ってきたと思うか聞いたところ、「どちらかといえば増えてきたと思う」(26.0%)と「増えてきたと思う」(18.6%)を合わせた『増えてきた(計)』(44.6%)が4割台半ばとなっている。

一方、「減ってきたと思う」(1.2%)と「どちらかといえば減ってきたと思う」(5.7%)を合わせた『減ってきた(計)』(6.9%)は1割未満となっている。また、「変わらないと思う」(34.3%)は3割台半ばとなっている。

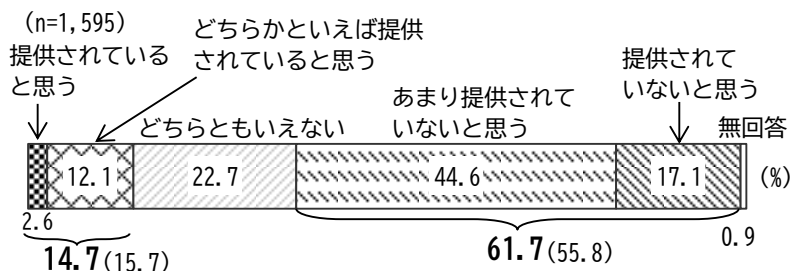


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

#### (4)消費者教育の機会に対する考え

学校や地域、職場などで消費者教育の機会が提供されていると思うか聞いたところ、「提供されていると思う」(2.6%)と「どちらかといえば提供されていると思う」(12.1%)を合わせた『提供されている(計)』(14.7%)が1割台半ばとなっている。

一方、「あまり提供されていないと思う」(44.6%)と「提供されていないと思う」(17.1%)を合わせた『提供されていない(計)』(61.7%)が6割を超えている。

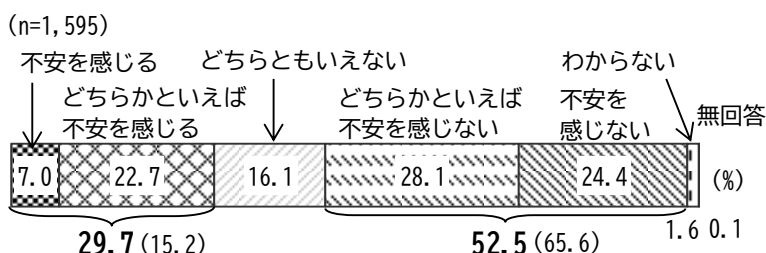


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

#### (5)生活必需品の安定的な供給体制や安全性に対する不安の有無

普段の生活の中で、生活必需品の安定的な供給体制や安全性に不安を感じることもあるか聞いたところ、「不安を感じる」(7.0%)と「どちらかといえば不安を感じる」(22.7%)を合わせた『不安を感じる(計)』(29.7%)は約3割となっている。

一方、「どちらかといえば不安を感じない」(28.1%)と「不安を感じない」(24.4%)を合わせた『不安を感じない(計)』(52.5%)が5割を超えている。

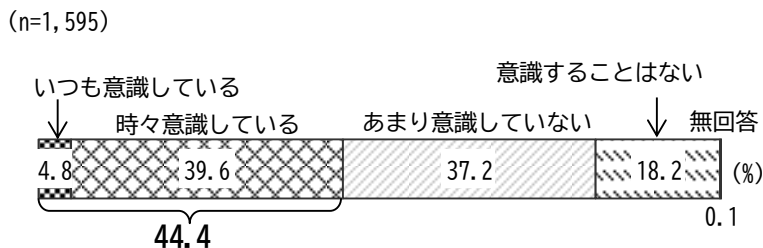


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

#### (6)買い物をする際の「エシカル消費」の意識の有無

買い物をする際に、「エシカル消費」を意識するかを聞いたところ、「いつも意識している」(4.8%)と「時々意識している」(39.6%)を合わせた『意識している(計)』(44.4%)が4割台半ばとなっている。

一方、「あまり意識していない」(37.2%)は約4割、「意識することはない」(18.2%)は約2割となっている。



## 「消費生活について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、203人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「消費生活について」の自由回答(抜粋)

- 消費者トラブルの相談窓口が存在していることを知らなかったですし、周りで知っている人はいないと思います。消費者トラブルは年々増加傾向にあると思うのでもっと広告を打ち出すべきだと思います。  
(男性、20代、葛南地域)
- 私は学校で消費者保護に関する講義を受ける機会があったため、ある程度の知識はあると思いますが、そうでなければ難しかったのではないかと思います。特に点検商法は一人暮らしをはじめたときは非常に多く、社会に出る前、進学などで一人暮らしをする前の基礎知識として学ぶ必要があるのではないかと思います。  
(女性、40代、葛南地域)
- 屋根が壊れているから直した方がいいと玄関先に屋根工事業者らしき人が来ました。あとで確認したところ、屋根が壊れている気配は全くなく、家族に話をしたところやっとならされたことと自覚しました。言葉巧みに嘘をつかれ近所にもそういった業者がいることを悲しく思いました。  
(女性、30代、葛南地域)
- 消費者トラブルにあわないための教育充実が大事。トラブルにあった時、どこの誰々直ぐに相談できるのか、したらいいのか常日頃から知っておきたい。  
(男性、75歳以上、東葛飾地域)
- 親世代を見ていると、詐欺商法だと思うハガキや電話に対してすごく不安を感じやすいと思います。ネットで調べればすぐに分かる事も60代以上の方にはむずかしい事も多いので、だまされないように事例を挙げて広く知られるようにしてほしいと思います。  
(女性、40代、葛南地域)
- コロナによって世界間の物流に変化があり、マスク不足、燃料不足、物価の高騰などの変化があり、輸入に頼っている品々は安定供給に不安を感じる。  
(女性、40代、君津地域)
- 生活必需品において海外で生産されている物が輸入先の都合で国内に流通できなくなる危険性を感じることもある。  
(男性、50代、東葛飾地域)
- エシカル消費が良いことだとは理解しているものの、実践しようとするとなかなか割高になってしまうため、所得が低い若年層にとっては難しいと感じている。  
(女性、20代、千葉地域)
- 「エシカル消費」という言葉を私自身初めて知りました。この言葉をもっと多くの人に浸透させるような活動が必要ではないかと思います。また、そういう商品が浸透すれば購入が増えるのではないかと思います。  
(女性、30代、千葉地域)
- 今までエコ商品には意識していたが、フェアトレード商品とかは知らなかったもので、気にかけたいと思いました。日常の買い物の中で、なかなかエシカル消費を考える事がないので、もっと周知されたいとも思います。  
(女性、60～64歳、葛南地域)

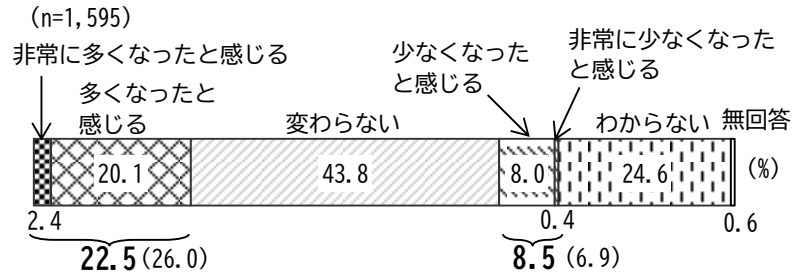
### 3

## 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

### (1) お住まいの地域の犯罪発生状況

お住まいの地域の犯罪発生状況について、「非常に多くなったと感じる」(2.4%)と「多くなったと感じる」(20.1%)を合わせた『多くなったと感じる(計)』(22.5%)が2割を超えている。

一方、「少なくなったと感じる」(8.0%)と「非常に少なくなったと感じる」(0.4%)を合わせた『少なくなったと感じる(計)』(8.5%)が1割未満となっている。

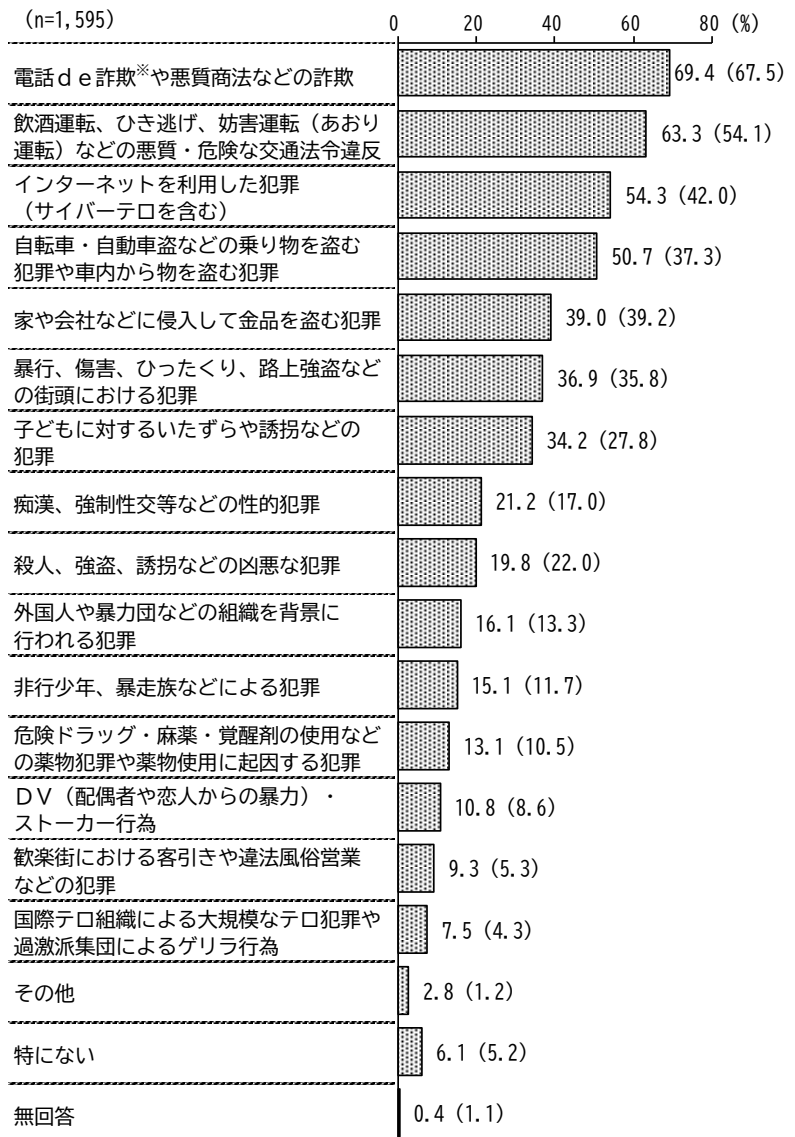


注) ( ) 書きは、令和2年度の調査結果を示している。

### (2) 自身や身近な人が巻き込まれる危険性に不安を感じる犯罪

(複数回答:いくつでも)

自身や身近な人が巻き込まれる危険性に不安を感じる犯罪について聞いたところ、「電話de詐欺や悪質商法などの詐欺」(69.4%)が約7割で最も高く、以下、「飲酒運転、ひき逃げ、妨害運転(あおり運転)などの悪質・危険な交通法令違反」(63.3%)、「インターネットを利用した犯罪(サイバーテロを含む)」(54.3%)、「自転車・自動車盗などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」(50.7%)が続く。



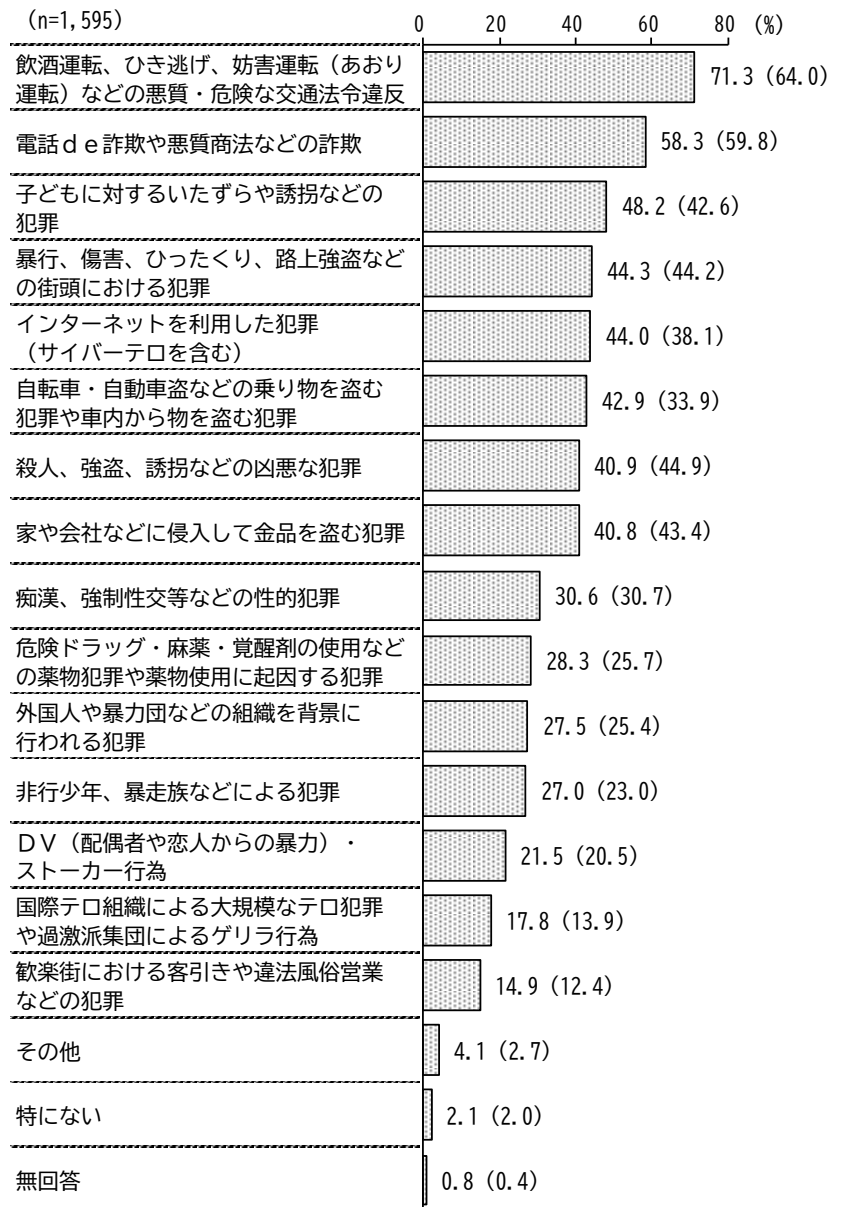
(※)「電話de詐欺」とは、還付金詐欺、オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺など特殊詐欺を総称した千葉県独自の広報用名称です。

注) ( ) 書きは、令和2年度の調査結果を示している。

### (3)警察に力を入れて取り締まってほしい犯罪

(複数回答:いくつでも)

警察に力を入れて取り締まってほしい犯罪について聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げ、妨害運転（あおり運転）などの悪質・危険な交通法令違反」(71.3%)が7割を超えて最も高く、以下、「電話d e詐欺や悪質商法などの詐欺」(58.3%)、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」(48.2%)、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(44.3%)が続く。

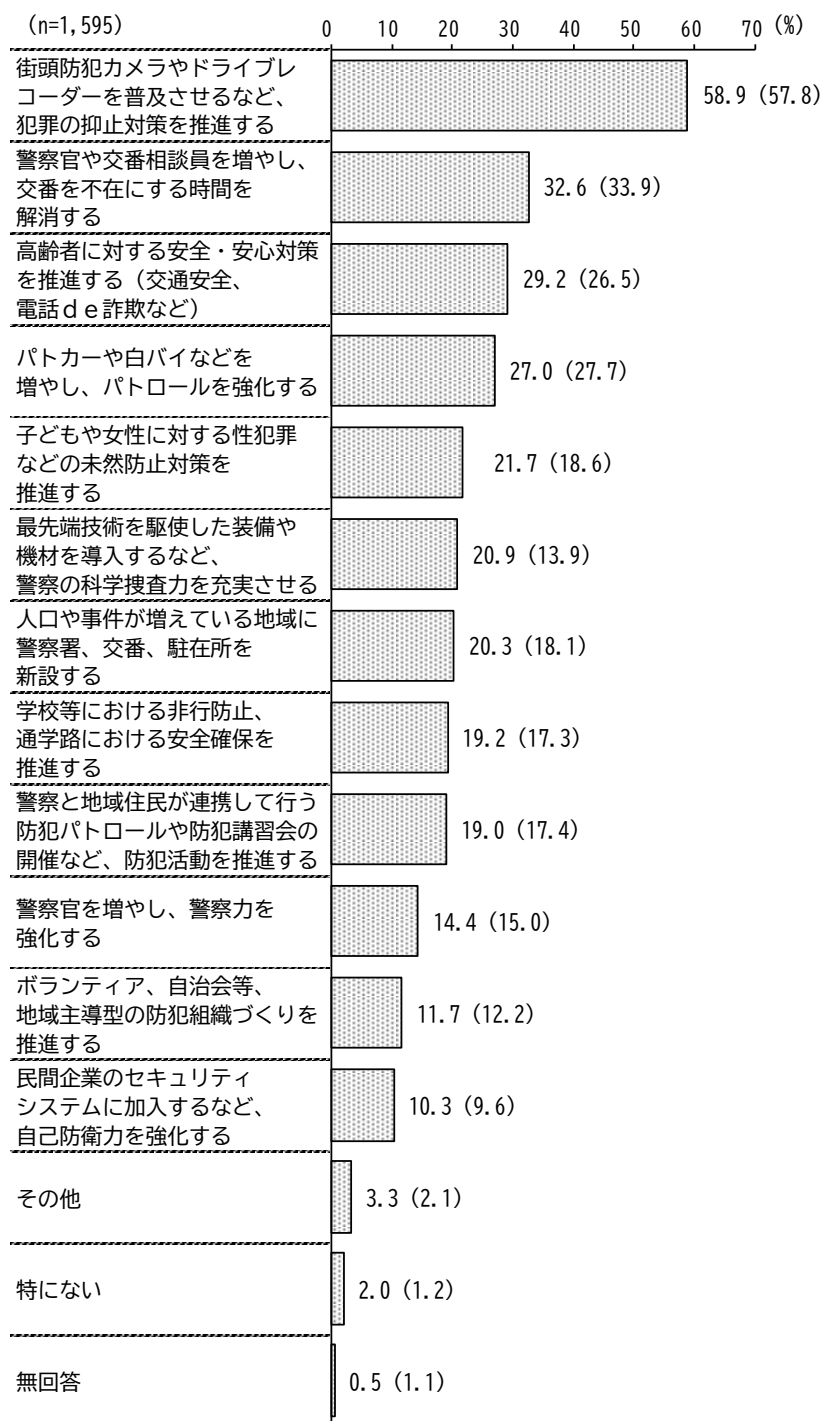


注) ( ) 書きは、令和2年度の調査結果を示している。

#### (4)安全で安心できる生活を守っていくために必要なこと

(複数回答:3つまで)

安全で安心できる生活を守っていくために必要なことについて聞いたところ、「街頭防犯カメラやドライブレコーダーを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」(58.9%)が約6割で最も高く、以下、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」(32.6%)、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する(交通安全、電話d e詐欺など)」(29.2%)、「パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する」(27.0%)が続く。



注) ( ) 書きは、令和2年度の調査結果を示している。



## 「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、248人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」の自由回答(抜粋)

- 住んでいる地区は警察署が近くパトロール(パトカー)が頻繁に行われているので、監視の目があり安心して生活できます。パトカーが目につくだけでも充分犯罪防止になると思うので頻繁に行って欲しいです。(女性、50代、千葉地域)
- 犯罪は住宅地や混み合った場所で起こることが多いので、パトカーや白バイ等のパトロールではなく、警察官の足や自転車等を使った細かな路地での巡回パトロールが不可欠と考えますが、現状ではあまりパトロールを見かけません。もっと増やしたらどうでしょうか。(女性、65～69歳、葛南地域)
- 警察は犯罪摘発ではなく、犯罪予防(指導)に力を入れて欲しい。(男性、70～74歳、葛南地域)
- 防犯カメラの設置なども積極的に進めてほしい。(女性、60～64歳、印旛地域)
- 暴走族や「あおり運転」をしている犯罪者をしっかり検挙してほしいと思います。(男性、40代、葛南地域)
- 高齢ドライバーの免許返納率を上げるための対策強化。(女性、40代、千葉地域)
- 他の都道府県や省庁との協力の下、サイバー犯罪や詐欺、悪徳商法などの撲滅へ向けた取り組みの強化を進めて欲しい。(男性、60～64歳、葛南地域)
- 性犯罪、虐待などの主に女性・子どもが被害に遭う事件については、捜査や取り締まりを強化するとともに被害者の心のケアにも力を入れてほしい。(女性、20代、千葉地域)
- 我が家は電話詐欺等を防止するため常時留守番電にしていますが、経費が掛かります。年金生活であり物価もどんどん高騰しています。老後の生活費削減のため、電話詐欺等を防止するための機器を無償提供していただけたらと思います。(男性、75歳以上、東葛飾地域)
- 違法駐車など近くの交番に連絡してもなかなか来てもらえなかった事があったので、他にも対処する問題があると仕方ないとも思いますが、困って連絡しているので早めに来てもらえたらと思います。(女性、60～64歳、葛南地域)
- DVや虐待、いじめ、ストーカーなどは事前に予防できるのではと思っています。相談窓口があることは知っていますが、もっともっと身近で親しみやすい雰囲気づくりは必要だと思います。(女性、30代、東葛飾地域)

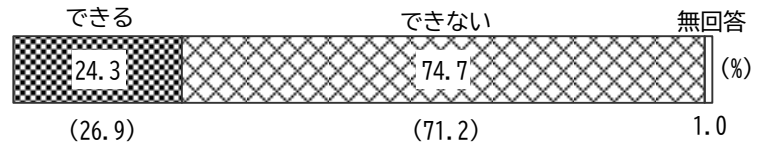
## 4 心肺蘇生法等について

### (1) 胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸をできるか

「胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸を出来ると思うか」と聞いたところ、「できる」(24.3%)が2割台半ばとなっている。

一方、「できない」(74.7%)は7割台半ばとなっている。

(n=1,595)



注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (1-1) 異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできるか

「胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸をできる」と回答した387人に、異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできると思うか聞いたところ、「できる」(74.9%)が7割台半ばとなっている。

一方、「できない」(24.5%)は2割台半ばとなっている。

(n=387)



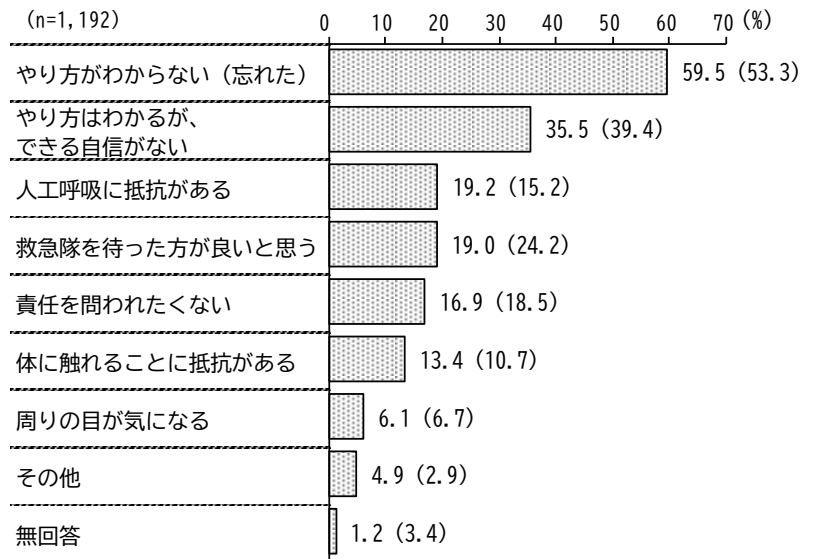
注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (1-2) 胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由

(複数回答:いくつでも)

「胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸をできない」と回答した1,192人に、その理由を聞いたところ、「やり方がわからない(忘れた)」(59.5%)が約6割で最も高く、以下、「やり方はわかるが、できる自信がない」(35.5%)、「人工呼吸に抵抗がある」(19.2%)、「救急隊を待った方が良いと思う」(19.0%)と続く。

(n=1,192)

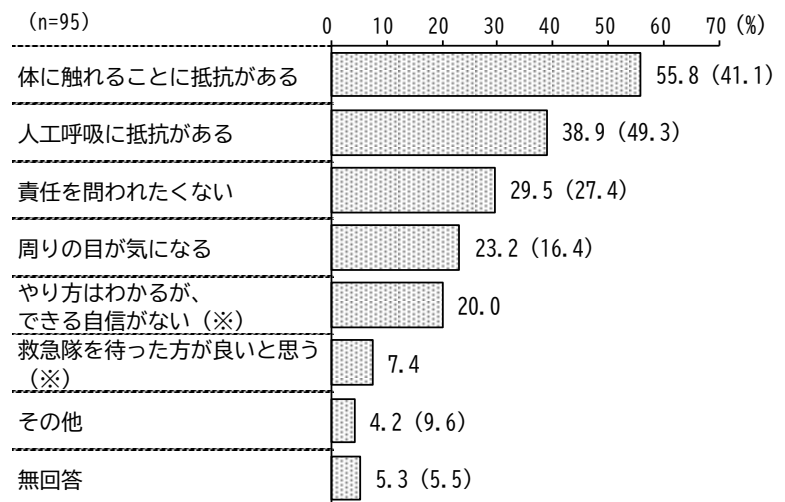


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (1-3) 異性に対して胸骨圧迫や人工呼吸をできないと思う理由

(複数回答:いくつでも)

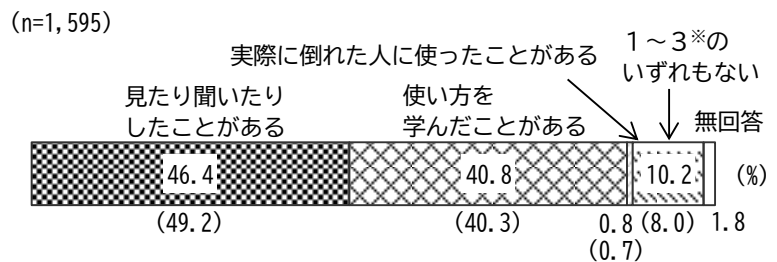
「異性に対して胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸をできない」と回答した95人に、その理由を聞いたところ、「体に触れることに抵抗がある」（55.8%）が5割台半ばと最も高く、以下、「人工呼吸に抵抗がある」（38.9%）、「責任を問われたくない」（29.5%）、「周りの目が気になる」（23.2%）と続く。



注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。  
(※) 今回調査からの新規項目

### (2) AEDの認知度・利用経験

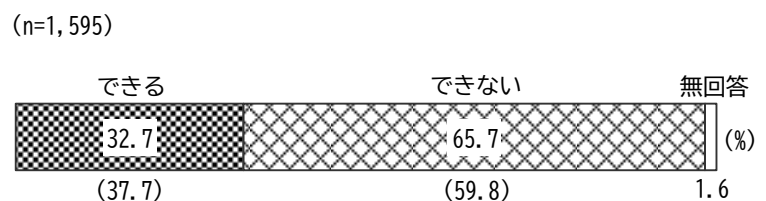
AED（自動体外式除細動器）について見聞きしたり、使ったことがあるか聞いたところ、「見たり聞いたりしたことがある」（46.4%）が4割台半ば、「使い方を学んだことがある」（40.8%）が4割となっている。一方、「1～3のいずれもない」（10.2%）は1割となっている。



注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。  
(※) 1～3とは、「見たり聞いたりしたことがある」、「使い方を学んだことがある」、「実際に倒れた人に使ったことがある」を指す。

### (3) AEDを使用できるか

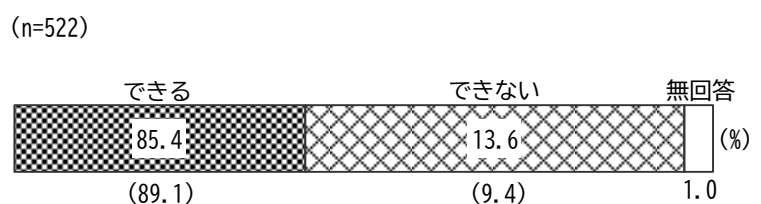
AEDを使用できるか聞いたところ、「できる」（32.7%）が3割を超えている。一方、「できない」（65.7%）は6割台半ばとなっている。



注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (3-1) 異性に対してAEDを使用できるか

「AEDを使用できる」と回答した522人に、異性に対しAEDを使用できるか聞いたところ、「できる」（85.4%）が8割台半ばとなっている。一方、「できない」（13.6%）は1割台半ばとなっている。

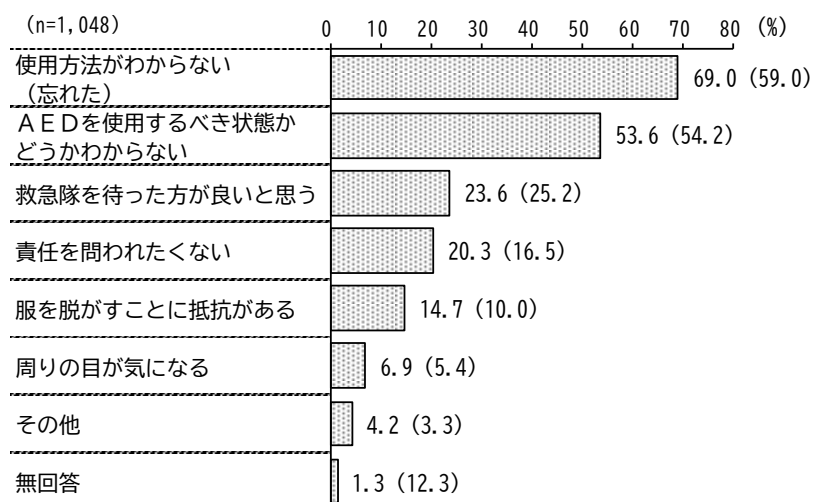


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (3-2) AEDを使用できないと思う理由

(複数回答:いくつでも)

「AEDを使用できない」と回答した1,048人に、その理由を聞いたところ、「使用方法がわからない(忘れた)」(69.0%)が約7割で最も高く、以下、「AEDを使用すべき状態かどうかわからない」(53.6%)、「救急隊を待った方が良くと思う」(23.6%)、「責任を問われたくない」(20.3%)と続く。

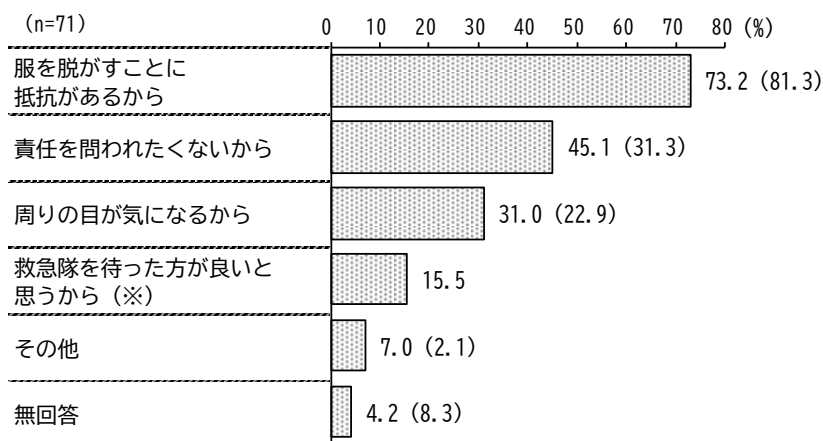


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (3-3) 異性に対してAEDを使用できないと思う理由

(複数回答:いくつでも)

「異性に対してAEDを使用できない」と回答した71人に、その理由を聞いたところ、「服を脱がすことに抵抗があるから」(73.2%)が7割を超えて最も高く、以下、「責任を問われたくないから」(45.1%)、「周りの目が気になるから」(31.0%)と続く。



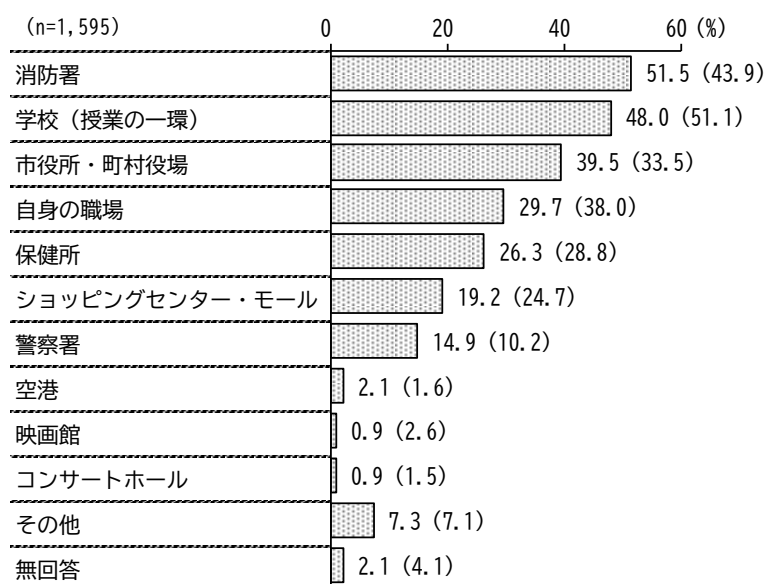
注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

(※) 今回調査からの新規項目

### (4) 応急手当の講習を希望する場所

(複数回答:いくつでも)

応急手当の講習を希望する場所を聞いたところ、「消防署」(51.5%)が5割を超えて最も高く、以下、「学校(授業の一環)」(48.0%)、「市役所・町村役場」(39.5%)、「自身の職場」(29.7%)と続く。



注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

## 「心肺蘇生法等について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、168人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「心肺蘇生法等について」の自由回答(抜粋)

○防災訓練で胸骨圧迫やAEDの使用方法について講習を受けたが、実施できるかとなると自信がない。繰り返し講習を受けて馴染むしかないのではないかと思う。  
(男性、70～74歳、印旛地域)

○数年前に講習を受講しましたが、いざその機会が来た時に周りの方々が親身にサポートしてくれるかが気になります。一人では、対応できない可能性が高いと感じています。あと、近くにAEDがあるかわからない場合が多いので、無い場合の対処に不安に感じます。  
(男性、50代、印旛地域)

○中・高生レベルでの使用対応は可能であると思うので、学校教育の一環として取り込み、地道に手堅く、着実に指導する事が必要。長い目で見れば、最終的には全員が応急処置ができるようになる。  
(男性、70～74歳、印旛地域)

○正直、他人の体に触れるだけでも抵抗があり、ましてやAED等を使うなどなおさらである。昨今何かと責任問題が発生しやすい状況の中で蘇生ができるか不安である。  
(男性、50代、葛南地域)

○特に女性に対してAED使用時に服を脱がせる事で訴えられないか心配で手が出せません。AED、心肺蘇生法のやり方講習を受けたことはありますが、遠い記憶なのでいざ目の前に倒れている人がいると緊張してできないと思います。一年くらいのスパンで定期的に体験できる機会があると良いのかなと思います。  
(男性、30代、東葛飾地域)

○AEDや心肺蘇生法については職場で講習を受けていますが、正直女性に対してはやりたくないです。実際にその場に出くわせばやるしか無いと思いますが、現場に女性がいれば女性が積極的にやって欲しいです。  
(男性、50代、千葉地域)

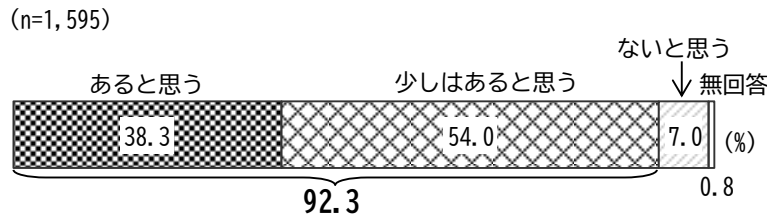
○AEDの使い方を学ぶ手段がもう少しほしい。たまに使い方のイベント等があるがスケジュールが合わなかったりして参加することができていない。個人的に知る手段があれば良いなと思う。  
(女性、30代、葛南地域)

○応急手定の講習は実際に体験できるように年1回程度学校や職場等で義務にするといいのではないかと思う。  
(女性、50代、千葉地域)

## 5 障害者施策について

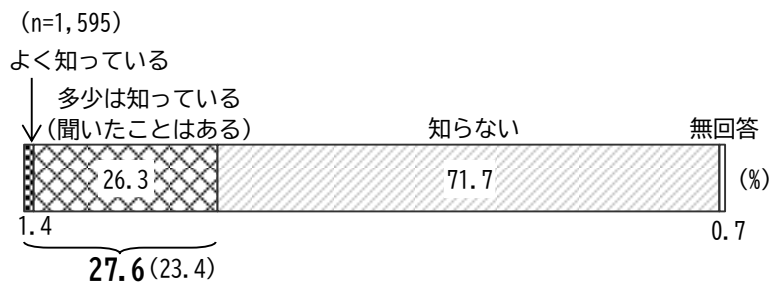
### (1) 障害を理由とする差別や偏見の有無

障害を理由とする差別や偏見の有無について聞いたところ、「あると思う」(38.3%)と「少しはあると思う」(54.0%)を合わせた『あると思う(計)』(92.3%)が9割を超えている。一方、「ないと思う」(7.0%)は約1割となっている。



### (2) 「障害がある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」認知状況

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(1.4%)と「多少は知っている(聞いたことはある)」(26.3%)を合わせた『知っている(計)』(27.6%)が約3割となっている。

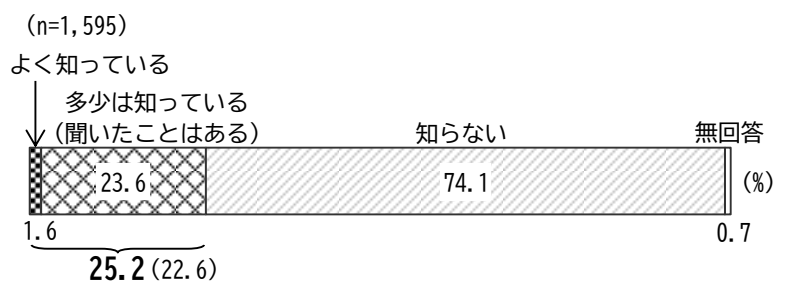


注) ( ) 書きは、平成29年度の調査結果を示している。

一方、「知らない」(71.7%)は7割を超えている。

### (3) 「障害者差別解消法」認知状況

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(1.6%)と「多少は知っている(聞いたことはある)」(23.6%)を合わせた『知っている(計)』(25.2%)が2割台半ばとなっている。



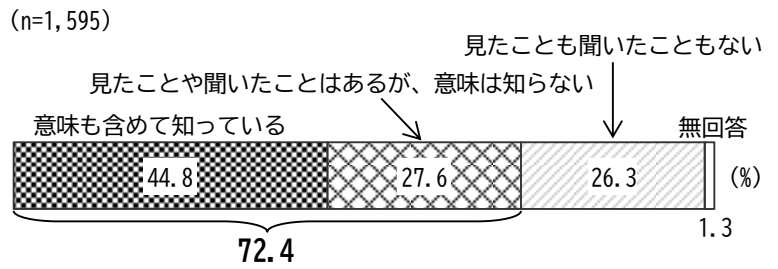
注) ( ) 書きは、平成29年度の調査結果を示している。

一方、「知らない」(74.1%)は7割台半ばとなっている。

#### (4)「ヘルプマーク」の認知状況

「ヘルプマーク」を知っているか聞いたところ、「意味も含めて知っている」(44.8%)と「見たことや聞いたことはあるが、意味は知らない」(27.6%)と合わせた『見たことや聞いたことがある(計)』(72.4%)が7割を超えている。

一方、「見たことも聞いたこともない」(26.3%)が2割台半ばとなっている。

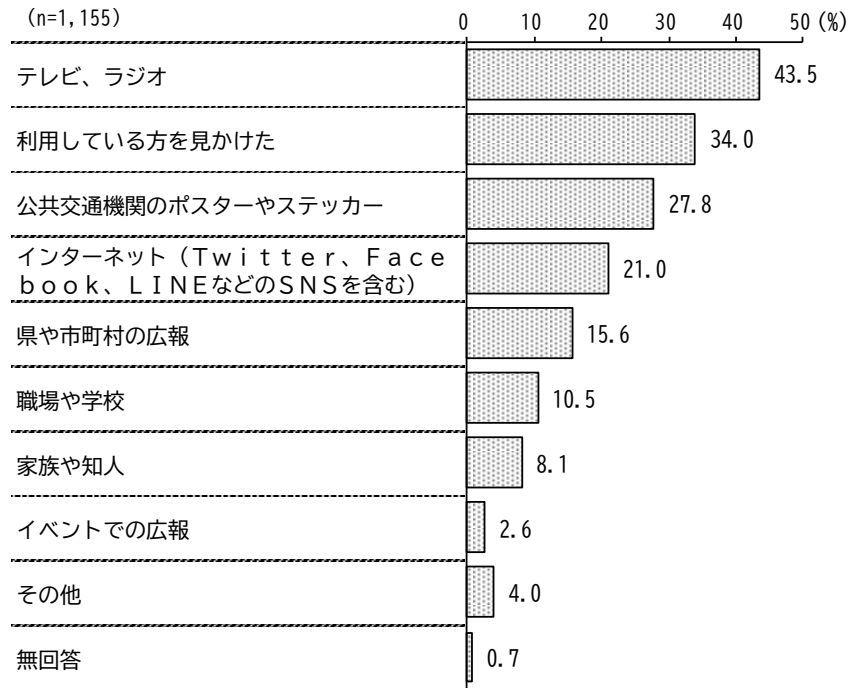


#### (4-1)「ヘルプマーク」の認知経路

(複数回答:いくつでも)

「ヘルプマークを見たことや聞いたことがある」と回答した1,155人に、どのように聞いたり、知ったりしたか聞いたところ、「テレビ、ラジオ」(43.5%)が4割台半ばと最も高く、以下、「利用している方を見かけた」(34.0%)、「公共交通機関のポスターやステッカー」(27.8%)、「インターネット(Twitter、Facebook、LINEなどのSNSを含む)」(21.0%)と続く。

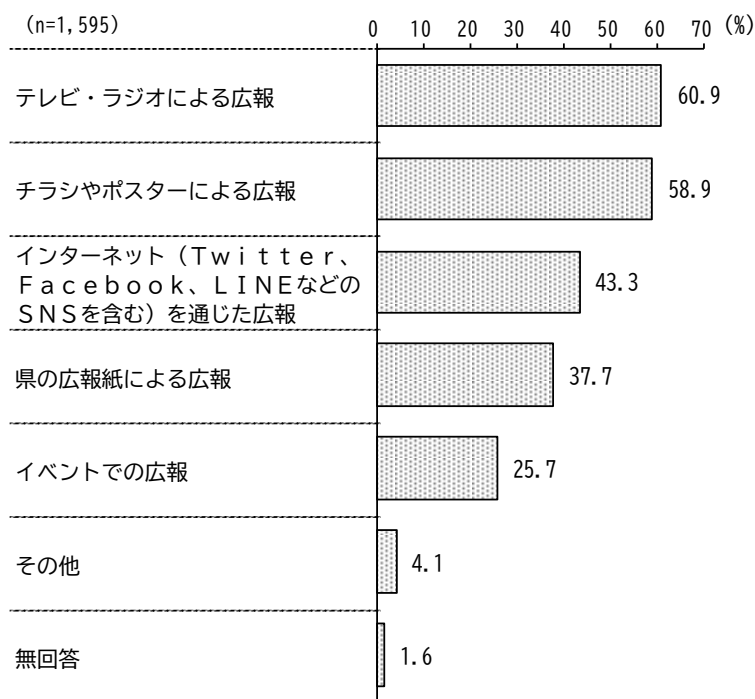
「インターネット(Twitter、Facebook、LINEなどのSNSを含む)」(21.0%)と続く。



(5)「ヘルプマーク」等の普及・啓発のために県が取り組むべきこと

(複数回答:いくつでも)

「ヘルプマーク」等の普及・啓発のために県が取り組むべきことを聞いたところ、「テレビ・ラジオによる広報」(60.9%)が6割で最も高く、以下、「チラシやポスターによる広報」(58.9%)、「インターネット(Twitter、Facebook、LINEなどのSNSを含む)を通じた広報」(43.3%)、「県の広報紙による広報」(37.7%)と続く。





## 「障害者施策について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、141人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「障害者施策について」の自由回答(抜粋)

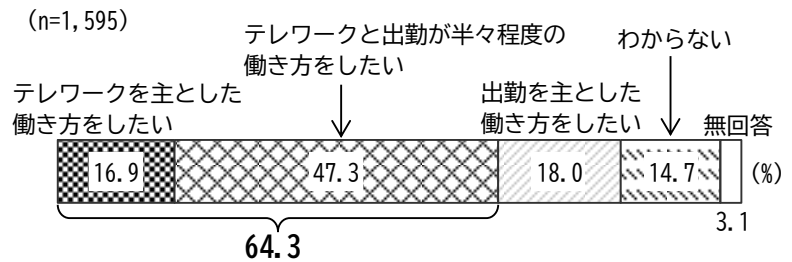
- 障害があっても個人個人の個性だと考えてもらえる地域社会になってもらえればもっとより良い方向に世の中はまわっていくと思う。(女性、20代、東葛飾地域)
- 差別や偏見がない社会になって欲しい。それぞれの違いをおかしな事としないように、学んでいける社会になると良いと思います。(女性、40代、夷隅地域)
- 障害のある人がない人と同じように公共施設や交通機関等使用できるような設備を整えていくべきだと思う。(女性、50代、安房地域)
- 「障害者」としてひとくくりにできない障害も多いと思う。例えば発達障害と知的障害では程度にもよるが生活していく上での困難具合が全然ちがう。それぞれのニーズを細かく調べて対応してほしい。(女性、30代、印旛地域)
- 困っている人がいたら助けてあげたいとは普段から思っているのですが、実際に行動できたことがないことを恥ずかしく感じています。同じ思いをしている人は多いのではないのでしょうか。そんな人達がサッと行動できるような社会の雰囲気になれば良いのですが、良いアイデアは無いものではないでしょうか。(男性、50代、千葉地域)
- 自分だけかも知れませんが、ヘルプマークを知りませんでした。仮に知っていて、持っている人を見かけても何をしたら良いのか分からない。(男性、60～64歳、葛南地域)
- ヘルプマークをつけている人がここ数年すごく増えてきた感じがします。電車や街中でよく見かけるようになりました。見た目ではハンディキャップがあることが分からない人もいるのでとてもよい取り組みでもっと認知されると良いと思います。(男性、30代、東葛飾地域)
- ヘルプマークについての公的な情報発信は、SNS以外であまり見かけない気がする。千葉テレビのコマーシャルなどで、比較的高い年齢層の人への周知も図っていく必要があると思う。(女性、20代、千葉地域)
- ヘルプカード、ヘルプストラップを持つ側からだけでなく、声を掛けやすいように、「お手伝いしますマーク」など声を掛けやすくする配慮も必要と思う。(女性、40代、葛南地域)

## 6 テレワークで働く環境について

### (1)テレワークで希望する働き方

テレワークで希望する働き方を聞いたところ、「テレワークを主とした働き方をしたい」(16.9%)と「テレワークと出勤が半々程度の働き方をしたい」(47.3%)を合わせた『テレワークを含めて働きたい(計)』(64.3%)が6割台半ばとなっている。

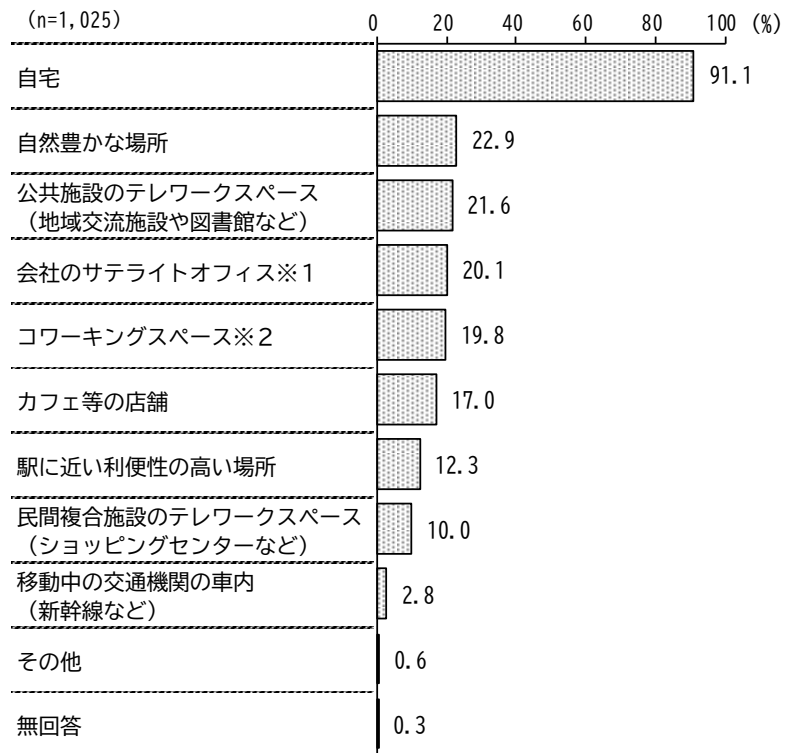
一方、「出勤を主とした働き方をしたい」(18.0%)が約2割となっている。



### (1-1)テレワークで働きたい場所

(複数回答:いくつでも)

「テレワークを含めて働きたい」と回答した1,025人に、テレワークで働きたい場所を聞いたところ、「自宅」(91.1%)が9割を超えて高く、以下、「自然豊かな場所」(22.9%)、「公共施設のテレワークスペース(地域交流施設や図書館など)」(21.6%)、「会社のサテライトオフィス※1」(20.1%)、「コワーキングスペース※2」(19.8%)、「カフェ等の店舗」(17.0%)、「駅に近い利便性の高い場所」(12.3%)、「民間複合施設のテレワークスペース(ショッピングセンターなど)」(10.0%)、「移動中の交通機関の車内(新幹線など)」(2.8%)、「その他」(0.6%)と続く。



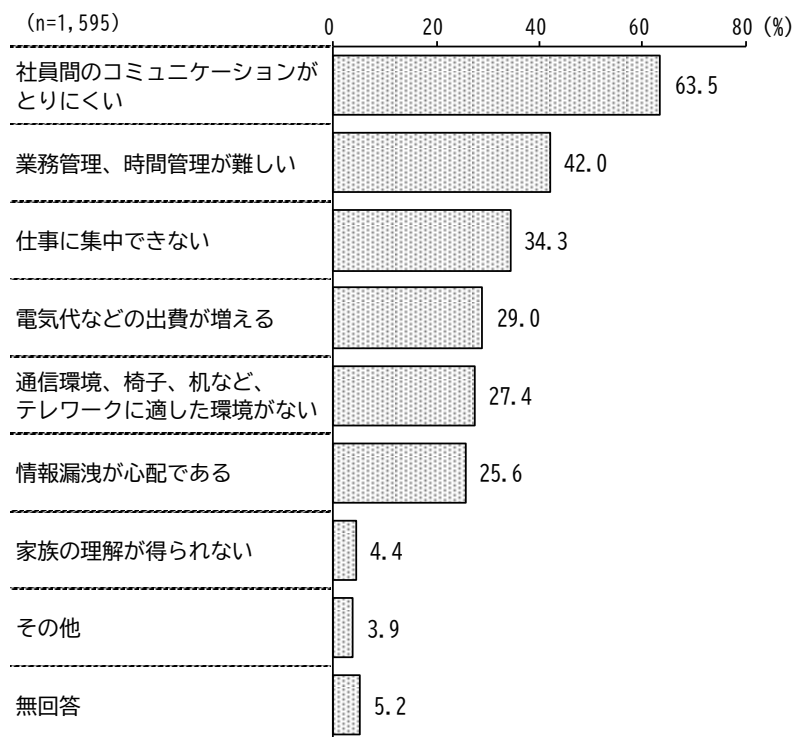
※1 サテライトオフィスとは、企業または団体の本拠地から離れた場所に設置されたオフィスのことをいいます。

※2 コワーキングスペースとは、多様な職種・業種の人々が、開かれたワークスペースを共有し、それぞれの仕事をする施設をいいます。

## (2)テレワークで働く場合の課題

(複数回答:いくつでも)

テレワークで働く場合の課題について聞いたところ、「社員間のコミュニケーションがとりにくい」(63.5%)が6割台半ばと最も高く、以下、「業務管理、時間管理が難しい」(42.0%)、「仕事に集中できない」(34.3%)、「電気代などの出費が増える」(29.0%)が続く。



## 「テレワークで働く環境について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、134人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「テレワークで働く環境について」の自由回答(抜粋)

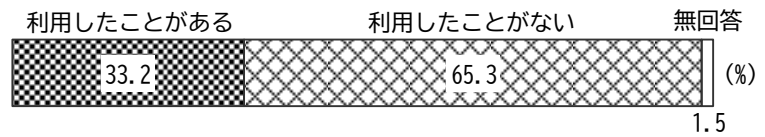
- コロナ禍の現代では、テレワークは今後もできる限り推進していくべきかと思います。通勤時間とコロナ感染リスクを低減できますし、テレワークで業務が成立するなら、テレワークが当たり前前の世界になれば良いと個人的には感じております。(男性、40代、葛南地域)
- 外にオンラインで会議や打ち合わせもできる防音のテレワークスペースがあるといいなと思う。(女性、40代、東葛飾地域)
- もっとテレワークが普及してくれると、時間を効率的に使えて、感染症のリスクも抑えられる。家族との時間もとれて助かる。子どもが小さい時は、家で働けると良いと思う。(女性、30代、印旛地域)
- 出勤とテレワーク半々くらいが丁度良いのではと考えます。テレワーク自体はとても良いものですが、仕事に集中できなかったり等あるため、会社に出勤し適度に人の目があるというの必要ではないかと考えます。テレワークは例えば台風や大雪など出勤が難しい場合に使用する等や、週の決まった日はテレワークというように、ある程度メリハリを持たせたりと工夫が必要かと思えます。(男性、40代、葛南地域)
- 自分が実際にテレワークしており月に1～2日くらいの出社しかしていません。課題はやはり、運動不足です。なので朝1時間程度の散歩を実践していますが、これでも足りない気がしておりジムに通うか検討中です。(男性、50代、印旛地域)
- 職務上、個人情報扱う場合があるため、テレワーク環境に制限がある。それに配慮した環境の構築が必要。また、テレワーク環境が可能となるネット環境の準備も不可欠と考えます。(男性、40代、長生地域)
- テレワークを開始してから光熱費は確実に高くなりました。オフィス賃料を下げるなど企業努力で少しでもよいので社員に負担分を還元してもらえると嬉しいです。(男性、30代、東葛飾地域)
- テレワークにおいて1番の問題は、コミュニケーションが従来の方法では取りにくいことだと思います。色々なツールが出てきていると思いますので、それらを取捨選択していくべきだと思います。(女性、30代、東葛飾地域)
- 子どもが家でテレワークで働いているので家族も気をつかう。(女性、75歳以上、東葛飾地域)
- テレワークができる人とできない人がいるので、なんでもかんでもテレワークというのは違うと思う。やれるのに、やらないのは違うと思うけど。(女性、50代、千葉地域)

## (1) 県立美術館の利用経験

県立美術館を利用したことがあるかを聞いたところ、「利用したことがある」(33.2%)が3割を超えている。

一方、「利用したことがない」(65.3%)が6割台半ばとなっている。

(n=1,595)

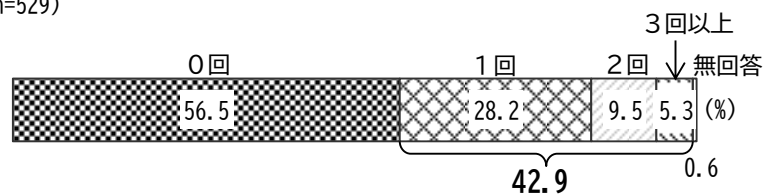


## (1-1) この1年間の来館回数

「県立美術館を利用したことがある」と回答した529人に、この1年間の来館回数を聞いたところ、「1回」(28.2%)、「2回」(9.5%)、「3回以上」(5.3%)の3つを合わせた『この1年間に来館したことがある(計)』(42.9%)が4割を超えている。

一方、「0回」(56.5%)が5割台半ばとなっている。

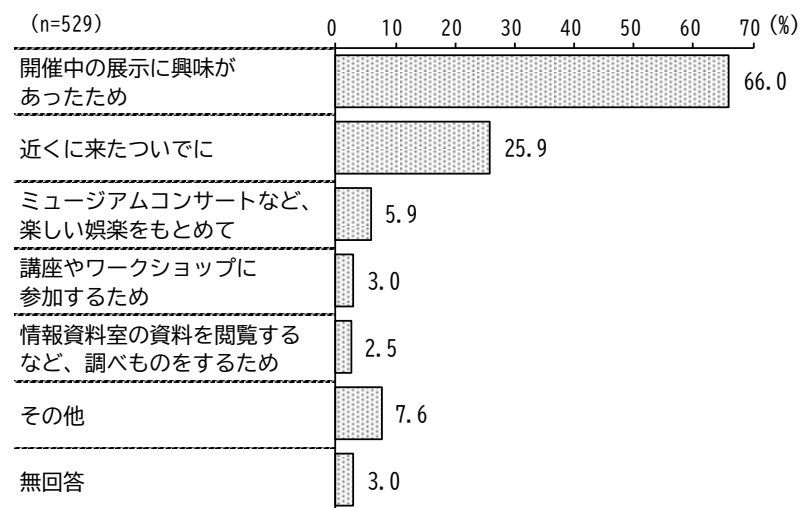
(n=529)



## (1-2) 来館した目的

(複数回答:いくつでも)

「県立美術館を利用したことがある」と回答した529人に、来館した目的を聞いたところ、「開催中の展示に興味があったため」(66.0%)が6割台半ばと最も高く、以下、「近くに来たついでに」(25.9%)、「ミュージアムコンサートなど、楽しい娯楽をもとめて」(5.9%)、「講座やワークショップに参加するため」(3.0%)、「情報資料室の資料を閲覧するなど、調べものをするため」(2.5%)、「その他」(7.6%)、「無回答」(3.0%)が続く。

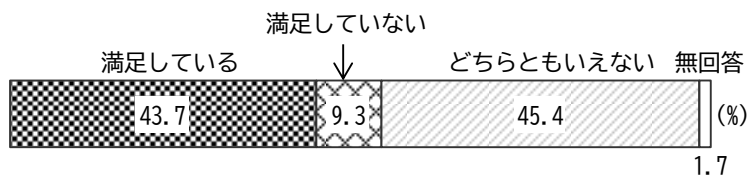


### (1-3) 利用満足度

「県立美術館を利用したことがある」と回答した529人に、利用して満足しているかを聞いたところ、「満足している」(43.7%)が4割台半ばとなっている。

一方、「満足していない」(9.3%)は約1割となっている。

(n=529)

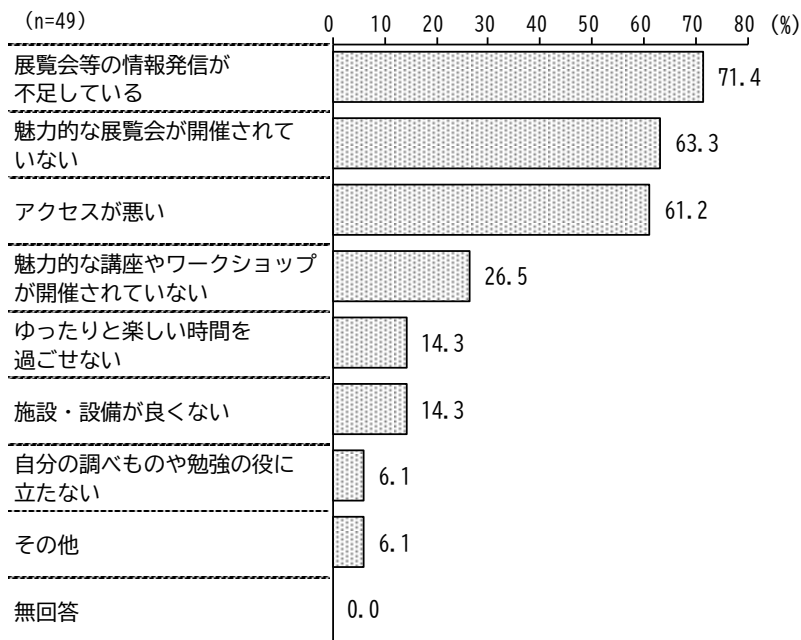


### (1-4) 満足していない理由

(複数回答:いくつでも)

「県立美術館を利用したことがあるが、満足していない」と回答した49人に、満足していない理由を聞いたところ、「展覧会等の情報発信が不足している」(71.4%)が7割を超えて最も高く、以下、「魅力的な展覧会が開催されていない」(63.3%)、「アクセスが悪い」(61.2%)が続く。

(n=49)

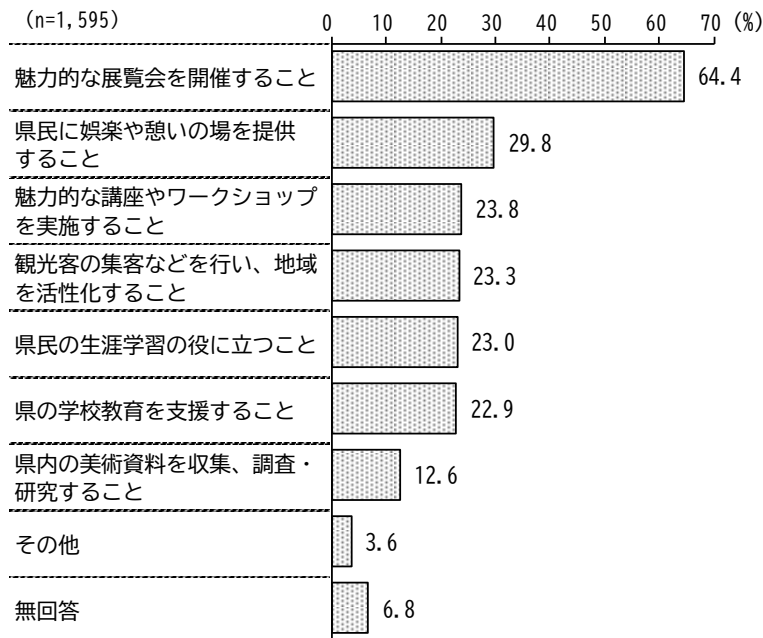


### (2) これからの県立美術館に期待すること

(複数回答:いくつでも)

これからの県立美術館に期待することを聞いたところ、「魅力的な展覧会を開催すること」(64.4%)が6割台半ばと最も高く、以下、「県民に娯楽や憩いの場を提供すること」(29.8%)、「魅力的な講座やワークショップを実施すること」(23.8%)、「観光客の集客などを行い、地域を活性化すること」(23.3%)、「観光客の集客などを行い、地域を活性化すること」(23.3%)が続く。

(n=1,595)



## 「県立美術館について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、125人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「県立美術館について」の自由回答(抜粋)

○美術館自体が、子ども向けのイベント、講座やワークショップをやっているところが少ないので、そこに力を入れてほしい！横浜美術館のようにやってもいいと思います。

(女性、40代、東葛飾地域)

○何度か展覧会を見に行きましたが、「講座」や「ワークショップ」については知りませんでした。

(男性、75歳以上、安房地域)

○現代アートや子ども参加型のワークショップがあるといい。

(男性、30代、葛南地域)

○美術館めぐりは好きなのですが、県内の情報が少ないため、都内がどうしても行きやすい。

(女性、70～74歳、印旛地域)

○でかけるとなると上野に足が向いてしまう。月曜日は無料にするなどの工夫があればうれしい。

(女性、50代、葛南地域)

○県に関係する人・物・コトの展示期間を長くしてほしい。市の美術館とも連携して、展示が県内の多くの場所で見られるようにしてほしい。

(女性、30代、印旛地域)

○例えば、千葉市美術館は浮世絵や版画のコレクションで知られているが県立美術館は何が有名かまったく思いつかない。何か核になる収集品や特長のある展示が必要なのではないか。また博物館でもあまり取り上げられない県内の工芸品や郷土玩具などまとまって常時見られる展示スペースがあっても良いと思う。

(男性、60～64歳、東葛飾地域)

○数年前に行ったがまた行きたいと思えなかった。展示物が少ないように思えました。何度も足を運びたいような魅力的な講座、パステルアート・チョークアートなど参加型があるとうれしいです。

(女性、50代、千葉地域)

○千葉県立美術館に今まで行ったことがありませんでした。今回調査項目に入っていたためどんな美術館なのだろうと初めてHPを見てみましたがとても素敵な美術館ですね。現在開催中の「江口寿史イラストレーション展」も魅力的です。コロナが落ち着いたら出かけてみたいと思います。

(女性、40代、印旛地域)

○自家用車を持たない者にとって、交通の便があまり良くない事が多く利用しない大きな要因です。市立美術館の方が利用しやすい。

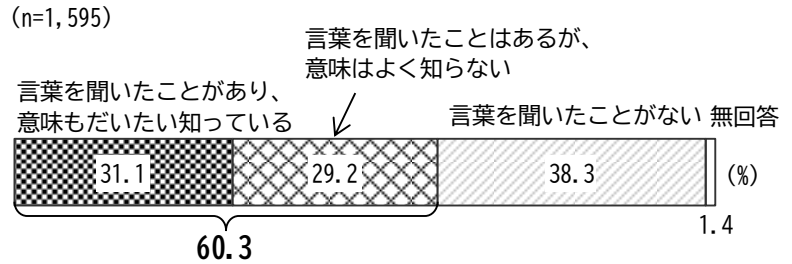
(男性、70～74歳、千葉地域)

## 8 多文化共生社会の推進について

### (1)「多文化共生」の認知状況

「多文化共生」という言葉について聞いたことがあるかを聞いたところ、「言葉を聞いたことがあり、意味もだいたい知っている」(31.1%)と「言葉を聞いたことはあるが、意味はよく知らない」(29.2%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(60.3%)が6割となっている。

一方、「言葉を聞いたことがない」(38.3%)が約4割となっている。

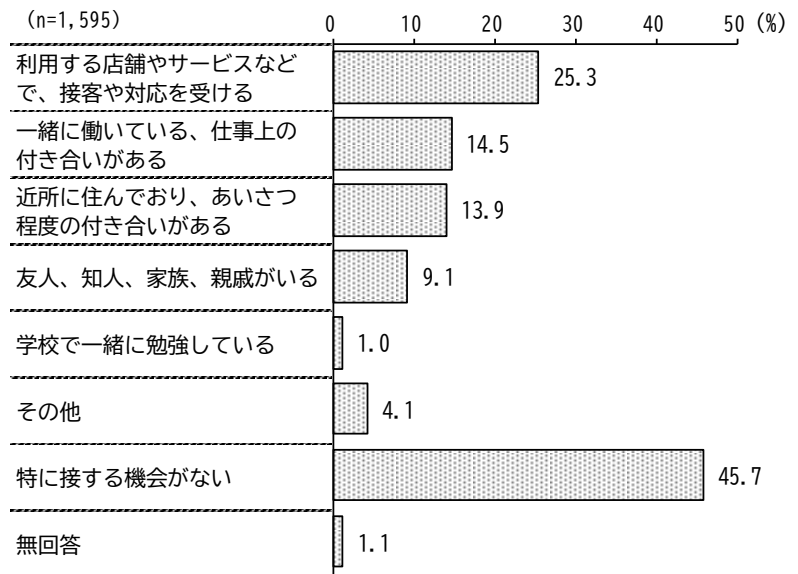


### (2)外国人住民と接する機会

(複数回答:いくつでも)

外国人住民と接する機会を聞いたところ、「利用する店舗やサービスなどで、接客や対応を受ける」(25.3%)が2割台半ばと最も高く、以下、「一緒に働いている、仕事上の付き合いがある」(14.5%)、「近所に住んでおり、あいさつ程度の付き合いがある」(13.9%)が続く。

一方、「特に接する機会がない」(45.7%)が4割台半ばとなっている。

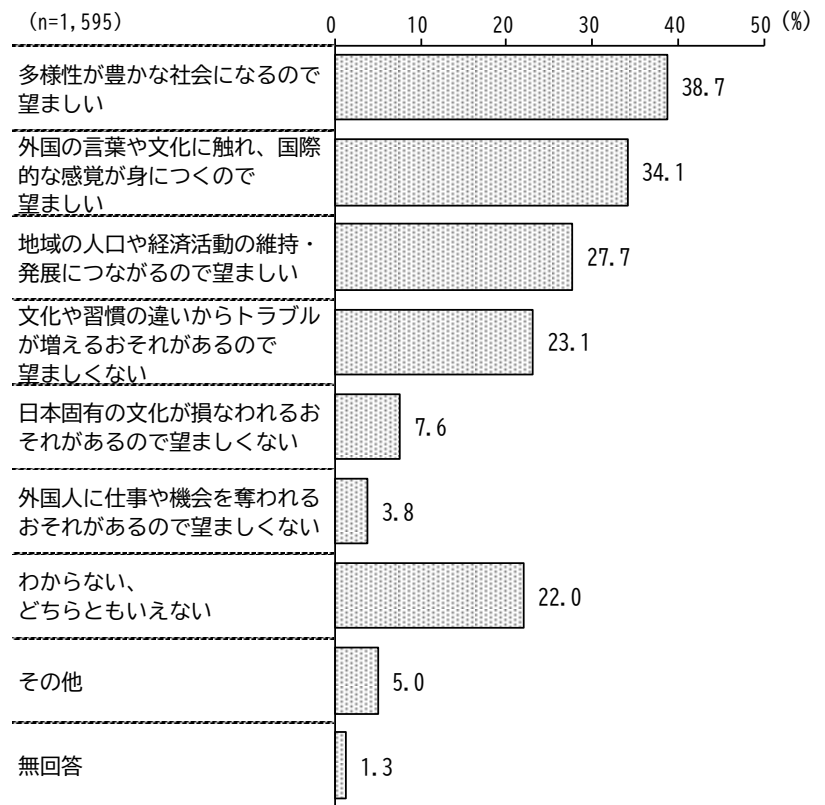




### (3)外国人住民が増えていることについての考え

(複数回答:3つまで)

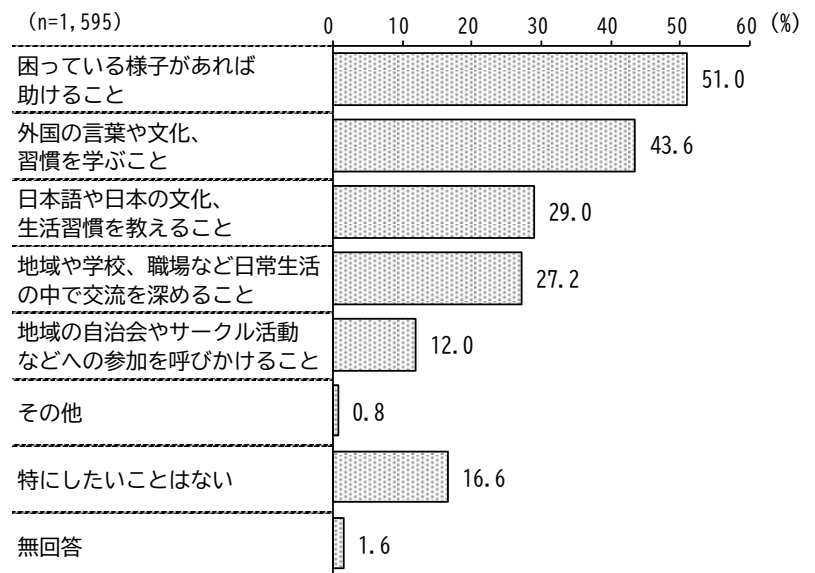
外国人住民が増えていることについての考えを聞いたところ、「多様性が豊かな社会になるので望ましい」(38.7%)が約4割で最も高く、以下、「外国の言葉や文化に触れ、国際的な感覚が身につくので望ましい」(34.1%)、「地域の人口や経済活動の維持・発展につながるので望ましい」(27.7%)、「文化や習慣の違いからトラブルが増えるおそれがあるので望ましくない」(23.1%)が続く。



### (4)お互いの理解を深めるためにしてみたいこと

(複数回答:3つまで)

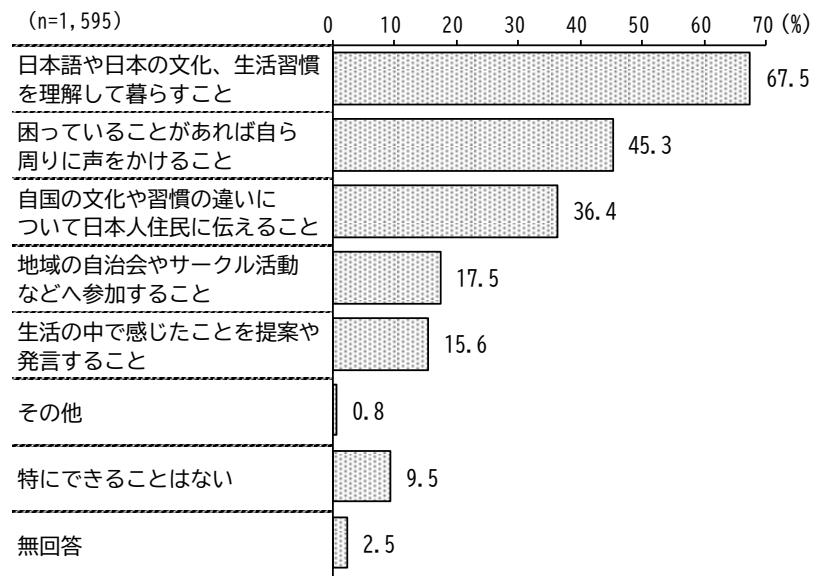
お互いの理解を深めるためにしてみたいことについて聞いたところ、「困っている様子があれば助けること」(51.0%)が5割を超えて最も高く、以下、「外国の言葉や文化、習慣を学ぶこと」(43.6%)、「日本語や日本の文化、生活習慣を教えること」(29.0%)、「地域や学校、職場など日常生活の中で交流を深めること」(27.2%)が続く。



### (5) お互いの理解を深めるために外国人住民に期待すること

(複数回答:3つまで)

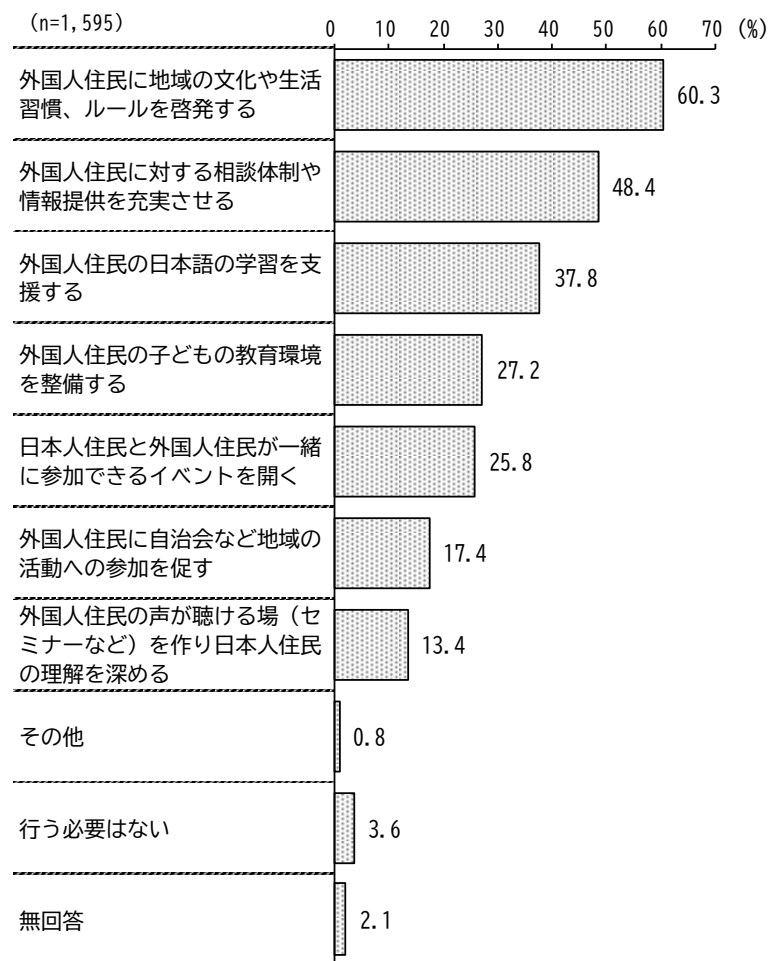
お互いの理解を深めるために外国人住民に期待することを聞いたところ、「日本語や日本の文化、生活習慣を理解して暮らすこと」(67.5%)が約7割で最も高く、以下、「困っていることがあれば自ら周りに声をかけること」(45.3%)、「自国の文化や習慣の違いがあれば自ら周りに声をかけること」(36.4%)が続く。



### (6) 地域社会の一員として共に暮らしていくために取り組むべきこと

(複数回答:3つまで)

共に暮らしていくために施策として取り組むべきことについて聞いたところ、「外国人住民に地域の文化や生活習慣、ルールを啓発する」(60.3%)が6割で最も高く、以下、「外国人住民に対する相談体制や情報提供を充実させる」(48.4%)、「外国人住民の日本語の学習を支援する」(37.8%)、「外国人住民の子どもの教育環境を整備する」(27.2%)が続く。



## 「多文化共生社会の推進について」の自由回答(抜粋)

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、159人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### ■「多文化共生社会の推進について」の自由回答(抜粋)

- 日本人同士でもトラブルは少なくないので、相互理解が不可欠と感じる。外国人住民と接する機会はそれなりにあるが、最低限の相互理解があれば、そうそうトラブルにはならないと思っている。  
(女性、30代、千葉地域)
- 日本の人口が減る中で外国人が来てくれることはありがたいと思う。反面、日本の文化やマナーを理解していないことによるトラブルもあると聞くため、相互理解が深まるようにしたい。  
(男性、30代、葛南地域)
- 知らないことに対して不安や恐怖を感じることは、本能なのかなと思います。しかし、外国人だからと言って怖がる必要は全くないので、どんどん相手のこと(国のことや習慣、食のこと)を教えて欲しいなと思います。そういった場があれば、自然とこちらのことも伝えることができるとおもいます。  
(女性、30代、東葛飾地域)
- 日本語がわからない子どもたちが日本語教育を受けられる学校をつくる。公立小・中学校に入ってきて、ある程度言葉が理解できるまでその学校で学習できるとよいと思っています。  
(男性、60～64歳、東葛飾地域)
- 日本の生活に慣れるにはまず地域での決まり事(ゴミ出しのルールとか)を理解してもらう事が大切だと思います。  
(女性、60～64歳、葛南地域)
- 外国の方が日本の文化や生活、ルールなどを理解しやすいようなコンテンツを積極的に発信して欲しい。  
(女性、30代、千葉地域)
- 身近な外国人は友好的で親切だが、日本人よりも外国人を優遇する政策になっているという情報をSNSで見て不安になる事はある。  
(女性、20代、長生地域)
- 駅やコンビニのまわりで多人数で大声での会話を見かける。異国に来て不安なのもわかるが、違和感があり少し不安になる。  
(男性、60～64歳、葛南地域)
- 「多文化共生」は必要な事とは思いますが、外国人住民を見ていると自分の事のみ主張して、何かあると「文化の違い」「言葉が解らない」等と、地域のルールを理解しようとしらない人が多い。  
(男性、70～74歳、千葉地域)
- 人によると思います。日本人だから安心、外国人だから不安と言う事は無いです。私自身は特に外国人が増えても不安では無いですが、自治体には外国人が安心して暮らせるように支援をしてあげて欲しいです。  
(男性、50代、千葉地域)

## 自由回答(抜粋)

県への意見を自由に記述していただいたところ、県への意見については233人から延べ301件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形で整理した。意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

### ◆県政全般に関する要望

○千葉県には良いところがたくさんあると思っています。もっと魅力を引き出して、更に暮らしやすくなることを願っています。(女性、40代、君津地域)

### ◆道路を整備する

○千葉県は、道路整備が遅れているので、迅速に整備をお願いします。(女性、60～64歳、海匝地域)

### ◆県政の情報発信について

○県民向けのサービス等の情報を見たり聞いたりする機会があまりないので、もう少しわかりやすい形で情報を出していただけると、県内の活性化につながるのではないのでしょうか？(男性、30代、東葛飾地域)

### ◆次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○学費・給食費の無償化。子ども医療費の無償化を進めて欲しい。子どもを大切にできる県になって欲しいです。(女性、40代、葛南地域)

### ◆学校教育を充実する

○教育予算の拡充をお願いします。子どもは、未来の千葉県を生きていきます。より良い未来のために、お願いしたいです。教育施策だけが学校現場におりてきて、資金は市町村や学校で何とかする、というのはなかなか難しいです。学校が充実した教育活動ができるよう、金銭面、人的配置について、ご配慮いただけるとありがたいです。(女性、50代、葛南地域)

### ◆高齢者の福祉を充実する

○高齢者が安心して暮らしていけるような県政であってほしい。(男性、60～64歳、印旛地域)

### ◆公共交通網(バス・鉄道)を整備する

○生活に欠かせない路線バスが、ここ数年で本数が半減しました。高齢化により、免許を持たなくなる人が増える中、生活の足の確保に力を入れてほしいと考えています。(男性、40代、千葉地域)

### ◆新型コロナウイルス感染症対策

○コロナにかかった時、医療体制にとっても不安を抱きました。弱っている時こそ、もっと楽に受診できたり、入院できたり、頼りたいと、切に願います。(女性、40代、山武地域)

### ◆犯罪防止対策をすすめる

○オレオレ詐欺など未だに減らないので、オレオレ詐欺防止電話機などの機器の啓発をお願いしたい。(女性、65～69歳、千葉地域)

### ◆観光を振興する

○千葉県の自然(山も海も)の美しさや海産物の美味しさを、もっともっと他県や外国の方々にアピールできるように力を入れて整備し、観光県として注目を浴びるくらいになってほしい。(女性、60～64歳、葛南地域)

### ◆農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する

○最近農地がどんどん失われ、農産物の自給率がとても心配です。世界的に見ても、輸入すれば解決といえる状況ではなくなっていくのではないのでしょうか。地産地消の大切さが問われていると思います。(女性、70～74歳、東葛飾地域)

「県や世論調査へのご意見やご提案について」自由に記述していただいたところ、「世論調査について」62人から62件の回答が寄せられた。人数・件数には前問の「県への意見」に記入された世論調査への意見も含む。

これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

#### ◆世論調査について

##### ―《世論調査自体への意見》

- 回答してみると、調査結果にも興味が出ますが、公開までの期間が半年先だと忘れてしまっていると思うので、メール等でお知らせするような仕組みを作るといいなと思いました。  
(女性、30代、千葉地域)
- 新型コロナウイルスの項目がなかったは残念です。コロナ禍において困っていることを伝えられる項目があっても良かったのでは？  
(女性、50代、東葛飾地域)
- 調査を実施し、具体的な施策に反映させ、その効果を評価する、いわゆるPDCAを回していただけるのか、不明です。この点配慮ください。  
(男性、65～69歳、君津地域)
- 今回のアンケートから、普段何気なく過ごしている生活に、改めて意識すること、過ごせていることの有難さ（たくさんの人々に支えられていると）を感じました。  
(女性、50代、葛南地域)
- 初めて県の世論調査を手にしました。項目が多すぎる気がしました。  
(女性、75歳以上、葛南地域)
- 記入するのも、なかなか負担なので、有効に使われることを期待します。  
(女性、40代、葛南地域)

##### ―《調査手法や謝礼への意見》

- 最初はアンケートをするつもりはなかったが、チーバくんのボールペンとスマホでも回答できることで気が変わりました。  
(女性、40代、葛南地域)
- 紙だけならやらなかったと思う。ネットで手軽にでき、やり方も簡単だった。  
(女性、20代、君津地域)
- ボールペンだけでなく、回答した人に何かプレゼントしてみてもどうですか？  
(男性、40代、夷隅地域)
- 自由記述の項目の文字数制限が300文字以下と少なめなので、もう少し文字数多めにしていたけるとありがたいです。世論調査は県民の意識把握のためで、詳細な意見は必要無いのかも知れず、また担当職員の方の負担になるのかとは思いますが、1000文字程度入れられるようにしてほしい。  
(女性、40代、印旛地域)